

＝ 日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2017.9.7 No.279

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1  
TEL 090-9973-0941  
ホームページ  
<http://yamadakohei.jp>

## 日本共産党杉並区議団で行政視察を実施 南伊豆特養ホームの現状と課題は？



H30年3月の開設に向けて工事が進む。



一方、杉並区からの距離は遠く、アクセスが悪いため、利用者の孤立化と家族との絆の喪失等が懸念されています。7月から利用者説明会が実施され、入所申し込みが開始されています。

今回整備される自治体間連携による特養ホームは全国初の事業となり、介護保険制度上の圏域を超えるものとなります。杉並区にとっては、特養ホーム用地確保が困難な現状で、施設不足が深刻化するなか、入居待機者の解消に効果を上げることが期待されています。

杉並区は南伊豆町に杉並区の児童向け施設「南伊豆健康学園※1」があった縁で、交流を進めてきました。

### 全国初の自治体連携特養ホーム 区民枠50床に22件の申し込み

8月21日(月) 日本共産党杉並区議団は、南伊豆町に建設中の特別養護老人ホーム(仮称)「エクレシア南伊豆」を視察しました。

### 圏域外特養ホーム 諸課題への対応状況

南伊豆への特養ホーム整備は、距離の課題以外にも、圏域外特養ホームとしての諸課題、地域課題なども山積しています。現在、諸課題への対応方針が検討されている状況です。

- 当該用地の近隣が土石流警戒区域内である  
⇒建設・運営は法令等を遵守し、警戒区域内に建物を配置せず。
- へき地医療対策と医療機関との連携  
⇒二次救急対応医療機関は近隣で対応。少ない医療資源を有効活用する。地域医療振興協会と連携して対応。
- 利用者の孤立化対策  
⇒ICT機器(スカイプ)等の活用により、家族との距離感を縮めるための工夫を行なう。施設内に家族宿泊室を整備する。利用者家族送迎のためのシャトルバスの運行を検討。



土石流警戒区域を示す看板。

※1 肥満や気管支喘息、偏食、病弱等の健康上の障害のある児童を対象として健康改善の機会を提供する教育施設。

### 今後の区民利用の動向は？

視察では、運営事業者と懇談。運営事業者は30年間に亘り、地元で高齢者福祉サービスを提供しており、入居者の「生活の質」を高めていきたいと決意を語りました。今後、区民利用の動向と入居実態を注視する必要があります。

南伊豆特養ホームの定員は90床、うち杉並区民枠は50床となります。視察時点での入所申込の状況は、杉並区民22名、静岡県民30名程度が申し込みをしている状況です。

# 南伊豆特養ホーム アクセスの悪さは深刻

## 天城越えて片道四時間以上…日帰りは困難

南伊豆町は伊豆半島の最南端に位置しており、杉並区からの距離の遠さ、アクセスの悪さが大きな課題とされてきました。

東京都からは休憩無しで約四時間、高速道路を使用し、国道を走り、「天城越え※」をすることになります。※静岡県伊豆市と賀茂郡河津町の境にある天城峠を越える旅路のこと。難所として有名。



事業者にとっても物理的な距離をどう埋めるのが課題に。



各居室のスペースなどは、基準以上に広く設定されており、全ての個室にトイレが付く。近隣の環境も良い。

党区議団は、南伊豆特養ホームに入所している利用者を日帰りで訪問する利用者家族”と想定し、視察を実施しました。

適宜休憩も挟みつつ、渋滞にも巻き込まれながら、朝6時30分に杉並区を出発し、片道5時間以上。現地に約3時間滞在しましたが、杉並区に戻ってきたのは、夜の10時過ぎ、かなりの強行軍となりました。

結局、14時間以上の日帰り視察となり、現役世代の党区議団でも疲労困憊する状況となりました。

杉並区から南伊豆町に入居した家族に会いに行くのは、簡単ではありません。

## 事業者任せにせず 杉並区の支援拡充を

事業者との懇談では、利用者の孤立化対策のために、利用者の移送サービスの検討やICT機器（スカイプ）等の活用によるリアルタイム通信、伊豆急下田駅からのシャトルバスの運行などを検討しているとのことでした。

利用者の孤立化を防止するためには、杉並区からの移送サービスへの補助を拡充する等、さらなる支援策も求められています。

## 杉並区立三谷小学校での震災訓練支援 心肺蘇生・AED操作の指導を担当

9月2日（土）杉並区立三谷小学校において震災訓練が実施されました。雨天の中、町会やPTA、消防署、消防団、杉並区などが震災救援所の立ち上げや救命講習、包帯法、煙体験などの各訓練を実施しました。

私が所属する荻窪消防団第三分団も訓練支援に入りました。

私は救命講習を担当し、心肺蘇生の方法、AEDの取り扱い方などを指導。子ども達は、非常に熱心に訓練に参加していました。



荻窪消防団第三分団フェイスブックより。

## 育メン日誌

無事、第三子が産まれました！

8月30日（水）第三子が産まれました。3606グラムの大きな女の子です。予定日（8月23日）から一週間を経過しており、かなり大きく立派に育ちました（苦笑）。陣痛が始まってから2時間程度のスピード出産でしたが、妻も大変そうで、出産に立ち会った夫としてはハラハラするばかり…。気が気ではありませんでした。今は、無事に産まれてきてくれて、ホッとしています。これからも家族一同、よろしくお祈りします！



子どもたちも大喜び。



かなり巨大なベビーです。